

農林水産・食品分野の公募情報（2023年2月14日）

2月7日以降の新規の情報を赤字で示しています。

【研究開発関連】

■省庁等

- ・農林水産省（技術会議事務局）：「令和5年度みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち農林水産研究の推進（委託プロジェクト研究）」

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/230112.html>

分野等：

1. みどりの品種開発研究
みどりの品種開発加速化プロジェクト
2. 現場ニーズ対応型研究
 - 1) 子実用とうもろこしを導入した高収益・低投入型大規模ブロックローテーション体系の構築プロジェクト
 - 2) 園芸作物における有機栽培に対応した病害虫対策技術の構築
 - 3) 大径材の活用による国産材製品の安定供給システムの開発
 - 4) 魚類血合筋の褐変を防止する革新的冷凍技術の開発
3. 革新的環境研究
 - 1) 農業生産に不可欠な生態系サービスの効率的な評価技術の開発
 - 2) 日本全国の林地の林業採算性マトリクス評価技術の開発
 - 3) 東南アジアの小規模農家のための経済性を備えた温室効果ガス排出削減技術の開発
4. アグリバイオ研究
ブリ等の人工種苗の普及により顕在化する新たな疾病リスクに対応するための効果的な抗菌剤使用法の開発

公募期間：2023年1月12日～2月28日

- ・農林水産省（消費・安全局）：「令和5年度 安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業」

https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/gi_jyutu/230208.html

分野等：

1. 課題解決型プロジェクト研究
 - 1) 持続可能な農林水産業推進とフードテック等の振興に対応した未来の食品安全プロジェクト
 - ・気候変動を考慮したかび毒汚染実態解明並びに汚染低減に関する研究
 - ・コメ中の有害元素低減と水田からのメタン排出抑制を両立する技術の確立
 - ・農作物中PFASの分析法の確立、農地土壌、水等からのPFAS移行特性の解明
 - ・脂溶性貝毒アザスピロ酸のモニタリング技術の高度化
 - ・食用昆虫中の有害物質のデータベース化、管理手法の確立
 - 2) 動物衛生対応プロジェクト
 - ・新たな感染症の出現に対してレジリエントな畜産業を実現するための家畜感染症対策技術の開発
2. 短期課題解決型研究研究
 - ・カキのノロウイルス汚染低減に関する研究
 - ・農業分野での抗菌剤の使用実態把握及び細菌性病害の総合防除の推進に関する研究
 - ・輸入検査における雑草種子に対する検疫措置に関する研究
 - ・九州本土を対象としたミカンコミバエ種群の改良型飛来解析システムの開発に関する研究
 - ・野生イノシシにおけるアフリカ豚熱防疫措置の具体化に関する緊急実証研究

公募期間：2023年2月8日～3月31日

- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構：「ペレット堆肥の広域流通促進モデル実証」

https://www.naro.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/156711.html

分野等：

1. 豚ふん・鶏ふんを用いたペレット堆肥の広域流通促進モデル実証
2. ペレット堆肥の大規模広域流通促進モデル実証

公募期間：2023年2月3日～3月13日

- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構：「下水汚泥資源の活用促進モデル実証」

https://www.naro.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/156702.html

分野等：下水処理施設及び農業集落排水施設から排出される汚泥を原料としたコンポスト肥料等の活用を促進するため、費用対効果の高い肥料の生産方法の開発やその肥効に係る現地実証等を実施する。

公募期間：2023年2月3日～3月13日

- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター：「令和4年度補正予算及び令和5年度当初予算「戦略的スマート農業技術の開発・改良」」

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/press/156454.html>

分野等：

野菜・果樹・畜産等、スマート農業技術の開発が必ずしも十分でない品目や分野について、地域の企業（農業機械メーカーやICTベンダー等）、生産者、研究機関等が連携して行う以下の技術開発や改良を支援する。

1. 海外依存度の高い農業資材や労働力の削減、自給率の低い作物の生産性向上等に必要スマート農業技術の開発・改良。
2. 技術開発のニーズがありながらも、これに係るスマート農業技術開発が必ずしも十分でない品目や分野について、先端技術を駆使することによって畑作物や野菜・果樹等の収量安定化や省力化を実現し、これら作物への転換・定着を促すとともに、非熟練者等による各種作業の習熟・効率化にも資するスマート農業技術の開発・改良。

1) 革新的シーズ開発実現型

現場ニーズがあるものの、これまで開発・実用化ができていない技術であり、先端技術を有する研究機関の革新的シーズを用いて実用化を目指す研究

2) 現場ニーズ改良実現型

これまで実用化が極めて限定的であり、現場ニーズを踏まえた改良等により、地域での様々な品目への実用化の可能性が高い改良研究

公募期間：2023年1月16日～2月15日

- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター：「食料安全保障強化に向けた革新的新品種開発プロジェクトのうち食料安全保障強化に資する新品種開発」

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/press/156607.html>

分野等：

1. 国内向けBNI強化コムギの開発
2. 国内生産力の強化を図るための穀物等品種の開発
3. 国内生産力の強化を図るための飼料作物品種の開発
4. 国内生産力の強化を図るための野菜品種の開発
5. 国内生産力の強化を図るための果樹・茶品種の開発

公募期間：2023年1月25日～2月22日

- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター：「オープンイノベーション研究・実用化推進事業」

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/press/156803.html>

分野等：産学官が連携して取り組む、将来の農林水産・食品分野での社会実装を目的とした革新的な研究シーズを創出する基礎研究や、基礎研究等の成果を社会実装するための実用化段階の研究開発を支援する。

公募期間：2023年2月3日～3月7日

- ・林野庁：「林業デジタル・イノベーション総合対策のうち戦略的技術開発・実証事業」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/R05koubo_1/05mhk0121.html

分野等：

1. 機械・新技術の開発・実証
2. ソフトウェア等の開発・実証
3. 新素材の開発・実証
4. 先進的林業機械の実証

公募期間：2023年1月30日～3月1日

- ・林野庁：「林業・木材産業循環成長対策のうち優良種苗生産推進対策のうちエリートツリー等の原種増産技術の開発事業」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/R05koubo_1/05mhk0119.html

分野等：

1. 増殖技術の最適化と施設型採種園の管理技術の開発
2. 無花粉スギの生産・増殖効率の改善

公募期間：2023年1月30日～3月1日

- ・林野庁：「世界遺産の森林生態系保全対策事業」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/R05koubo_1/05mhk0115.html

分野等：

1. 「小笠原諸島」における森林生態系保全のための技術開発
2. 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」における森林生態系保全のための技術開発

公募期間：2023年1月30日～3月1日

- ・林野庁：「木材需要の創出・輸出力強化対策のうち「地域内エコシステム」展開支援事業のうち「地域内エコシステム」モデル構築事業のうち「地域内エコシステム」技術開発・実証事業」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/R05koubo_1/05mhk0107.html

分野等：「地域内エコシステム」の構築に資する木質バイオマスのエネルギー利用システム（小規模な熱利用や熱電併給等）に関する技術開発・改良、実証・分析等（特に、木質バイオマスのエネルギー利用の低コスト化に資する取組）を行う。

公募期間：2023年1月30日～3月1日

- ・水産庁：「令和5年度ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実証事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/20230127_unagi_system.html

分野等：ウナギ養殖の種苗については、全て天然資源に依存する状況にある中で、シラスウナギの漁獲量の低迷により種苗供給が不安定な状況にあり、国民への安定的なウナギの供給が懸念されている。現在、国立研究開発法人水産研究・教育機構を中心に、ウナギ種苗の大量生産技術の確立に取り組んでいるところであるが、種苗大量生産の事業化を加速させる施策を講じる必要がある。このため、工学等異分野の技術の導入や産学官での連携を行い、これまでの実証事業で得た技術開発の成果を踏まえ、①仔魚の生残率の向上、②再現性の向上、③省力化・省コスト化等の実証試験に取り組む、ウナギ種苗を大量生産する際に必要な知見を得る。

公募期間：2023年1月27日～2月28日

- ・水産庁：「令和5年度豊かな漁場環境推進事業のうち海域特性に応じた赤潮・貧酸素水塊、栄養塩類対策推進事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/230127_su_akashio.html

分野等：海域ごとの赤潮・貧酸素水塊や栄養塩類不足による漁業被害への対策技術の開発・実証・高度化として、赤潮・貧酸素水塊について、近年の発生状況も踏まえた予察、被害軽減等の技術の開発・実証・高度化や、発生段階に応じた一連の対策（行動計画）の検討・策定を行うとともに、栄養塩類等の水質環境について、水産資源との関係やそれに及ぼす影響の解明等を行い、海域ごとの特性に応じた栄養塩類管理方策の検討・策定・発信を行う。

公募期間：2023年1月27日～3月9日

- ・水産庁：「令和5年度漁場環境改善推進事業のうち絶滅のおそれのある海洋生物の希少性評価委託事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/230127_redlist.html

分野等：海洋生物の保全及び持続可能な利用のため、水産庁は平成20年に閣議決定された「海洋基本計画」等を受け、「海洋生物レッドリスト（海域の野生生物を対象とする絶滅のおそれのある生物のリスト）」の検討を環境省と共同で行い、平成29年に作成の上公表している。レッドリストは、陸域の野生生物を対象とする「環境省レッドリスト」と「海洋生物レッドリスト」を別々の体制で評価し、作成していたが、今般2つのリストを整理統合することとし、統合した次期レッドリストの作成（令和6年度公表予定）に向けて、環境省は、令和2年3月に我が国の絶滅のおそれのある野生生物の「レッドリスト作成の手引」（以下「手引」という）を作成し、公表したところである。また、水産庁では、資源評価を行っている種及び多くの知見を有する種（以下「水産庁評価対象種」という）について、水産庁において手引を活用し評価を行うこととなっている。本事業では、一定数の水産庁評価対象種（既に評価を終えた種を除く）の希少性評価の検討等を行うことを目的とする。

公募期間：2023年1月27日～3月9日

- ・水産庁：「令和5年度新技術開発事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/hozyo/230202_se13.html

分野等：技術的・専門的観点から、捕鯨船を活用する等した調査体制及び新技術開発のための検討会を開催する。また、目視で行っている鯨類科学調査を補完するための新たな調査手法（例：音響調査、環境DNA調査等）を取り入れるため、捕鯨船を活用する等した新技術の開発と実証、これに付随する調査および情報収集等の取組を行う。

公募期間：2023年2月2日～16日

- ・水産庁：「令和5年度定置網漁業等における数量管理のための技術開発事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/hozyo/230202_se16.html

分野等：定置網漁業等において、小型魚等の混獲の回避や、魚種選択性を向上させる技術開発を行い、これらの技術の普及を促進する。

公募期間：2023年2月2日～3月1日

- ・水産庁：「令和5年度さけ・ます等栽培対象資源対策事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/230208_sakemasusaibai.html

分野等：

1. 新規栽培対象種資源対策事業（魚類、甲殻類）
2. 新規栽培対象種資源対策事業（二枚貝）
3. さけ・ます不漁対策事業

公募期間：2023年2月8日～28日

- ・水産庁：「令和5年度厳しい環境条件下におけるサンゴ礁の面的保全・回復技術開発実証委託事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/230208_r5sango.html

分野等：

1. サンゴ礁への幼生供給力を高める面的な保全・回復技術の開発
2. 海洋環境等変化に順応できるサンゴの開発

公募期間：2023年2月8日～3月9日

- ・水産庁：「令和5年度養殖業成長産業化技術開発事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/230209_yoshoku.html

分野等：

1. 飼餌料コスト低減対策
2. 新たな技術（ゲノム育種値）を用いた優良系統の作出
3. 血縁関係を考慮した系統の作出
4. 地球温暖化に適応したノリ養殖技術の開発

公募期間：2023年2月9日～28日

- ・水産庁：「令和5年度有明海のアサリ等の育成技術高度化実証事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/230208_asari.html

分野等：

1. 天然採苗技術を活用したアサリの育成・収穫
2. 環境変動に対応したアサリの育成
3. 作業効率の高いアサリの保護育成
4. 二枚貝等による貧酸素水塊軽減等の漁場への影響評価 等

公募期間：2023年2月8日～28日

- ・文部科学省：「令和5年度世界トップレベル研究拠点プログラム」

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_01184.html

分野等：令和5年度においても、引き続き、令和2年12月に決定された新しいWPI（WPI：World Premier International Research Center Initiative）ミッション「世界を先導する卓越研究と国際的地位の確立」、「国際的な研究環境と組織改革」、「次代を先導する価値創造」の実現に向けた優れた拠点構想を選定し、拠点形成に向けた取組を支援すべく公募を実施する。

公募期間：2023年1月31日～3月28日

- ・JST：「令和4年度 研究成果最適展開支援プログラム A-STEP 実装支援（返済型）」

https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/2022_hensai.html

分野等：大学等の研究成果・技術シーズの社会実装を目指し、ベンチャー企業等が実用化開発を行う。

公募期間：2022年7月29日～2023年3月31日（応募された課題提案は随時審査を行い採否を判定する）

- ・JST：「令和5年度採択 戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）「Well Being な高齢化のためのAI技術」における日本ーカナダ（NRC）国際産学連携共同研究課題募集」

https://www.jst.go.jp/inter/program/announce/announce_ca_ai2022.html

分野等：Well Being な高齢化のためのAI技術

公募期間：2022年10月12日～2023年4月3日

- ・JST：「e-ASIA 共同研究プログラム 令和5年度採択「環境」分野 共同研究課題募集」

https://www.jst.go.jp/inter/program/announce/announce_easia_jrp_12th.html

分野等：

東アジアの環境問題に取り組む研究課題を募集し、多国間連携による地域の能力強化に貢献することを目的としている。地域共同研究を通じて、低炭素社会、カーボンニュートラルの目標に向けて、革新的な技術や方法論が開発されることが期待される。募集のテーマは以下の3テーマを中心に実施する。

1. 炭素の回収・利用・貯留（CCUS）技術

- 2. 低炭素社会に向けた社会科学研究
 - 3. 電池リサイクルおよび新たな電池に向けた材料開発
- 公募期間：2023年1月10日～4月28日

・NEDO：「2023年度NEDO先導研究プログラム/新技術先導研究プログラム」

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00030.html

分野等：

1. エネルギー・環境新技術先導研究プログラム
2. 新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム

公募期間：2022年12月27日～2023年2月15日

・NEDO：「2023年度エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発事業」

https://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100209.html

分野等：

1. 革新的スマートコミュニティ技術の国際共同研究開発
2. 革新的バイオマス利用技術（バイオ炭など）の国際共同研究開発
3. グリーンモビリティの実現に資する革新的部材・デバイス等の国際共同研究開発

公募期間：2023年1月27日～3月27日

・NEDO：「2023年度NEDO先導研究プログラム/未踏チャレンジ」

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00043.html

分野等：NEDO先導研究プログラムは、脱炭素社会の実現に向けて、課題の解決に資する技術シーズを発掘し、先導研究を実施することで、産業技術に発展させていくことを目的とする。未踏チャレンジでは、事業開始後30年先の技術の実用化・社会実装を実現していくため、大学・公的研究機関等や産業界が有する将来有望な技術シーズを公募する。当該技術シーズを有する事業者に対して業務委託することで先導研究を実施し、有望な技術を育成する。

公募期間：2023年2月1日～4月3日

・NEDO：「2023年度脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム」

https://www.nedo.go.jp/koubo/DA2_100313.html

分野等：「省エネルギー技術戦略」（資源エネルギー庁、NEDO）において重点的に取り組むべき分野として特定した「重要技術」を中心に、2040年に高い省エネルギー効果が見込まれる技術開発を支援し、我が国における脱炭素社会を実現しつつ、産業競争力の強化を目指す。

公募期間：2023年2月2日～3月13日

・NEDO：「官民による若手研究者発掘支援事業」

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00045.html

分野等：実用化に向けた目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を行う大学等に所属する若手研究者を発掘し、若手研究者と企業との共同研究等の形成を促進する等の支援をすることにより、次世代のイノベーションを担う人材を育成するとともに、我が国における新産業の創出等に貢献することを目的として実施する。

公募期間：2023年2月6日～4月11日

・NEDO：「官民による若手研究者発掘支援事業（スタートアップ課題解決支援型）」

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00046.html

分野等：産業技術分野及びエネルギー・環境分野での実用化に向けた目的志向型の創造的な基礎又は応用研究であること。また、スタートアップの成長を加速させることを目指して、大学等に所属する若手研究者が、自身の研究力を生かしてスタートアップと初期的な共同研究等を実施し、スタートアップが事業推進や新事業創出等にあって直面する技術的課題を解決するもの。但し、医薬・創薬分野、医療機器分野での実用化に事業目的を限定した研究開発提案は対象外とする。

公募期間：2023年2月6日～4月11日

■民間等

・公益財団法人山田科学振興財団：「2023年度研究援助」

https://yamadazaidan.jp/requirements/grant-bosyu_kenkyu/

分野等：自然科学の基礎的研究

公募期間：2022年10月3日～2023年2月28日

・一般財団法人糧食研究会：「2023年度研究テーマ募集」

<https://www.ryouken.or.jp/josei/index.html>

分野等：食品機能（一次、二次、三次機能等）、食品評価（おいしさ、物性・食感等）、食品設計・加工・生産技術、食品安全、腸内細菌叢などに関する研究

公募期間：2022年10月17日～2023年2月24日

- ・公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団：「2023年度研究助成」

<http://www.takanofoods.co.jp/company/foundation/subsidy.shtml>

分野等：

1. 豆類や穀類の生産技術（栽培、育種、植物栄養、根圏微生物等）に関する研究
2. 豆類や穀類、並びにそれらの加工品の食品機能（栄養機能、嗜好機能、生体調節機能等）に関する研究
3. 豆類や穀類の加工、保蔵、流通技術に関する研究、並びにそれらの発酵に関連する微生物や酵素の探索、特性、利用に関する研究

公募期間：2023年1月15日～3月10日

- ・公益財団法人三島海雲記念財団：「2023年度学術研究奨励金（自然科学部門）」

<https://www.mishima-kaiun.or.jp/assist/natural-science.html>

分野等：食の科学に関する学術研究

公募期間：2023年1月10日～2月28日

- ・公益財団法人武田科学振興財団：「2023年度生命科学研究助成」

<https://www.takeda-sci.or.jp/research/assist/life.php>

分野等：生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究

公募期間：2023年1月6日～3月15日

- ・公益財団法人武田科学振興財団：「2023年度ライフサイエンス研究助成」

<https://www.takeda-sci.or.jp/research/assist/lifescience.php>

分野等：生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究

公募期間：2023年1月6日～3月15日

- ・一般財団法人東洋水産財団：「2023年度学術奨励研究」

<http://toyosuisanzaidan.or.jp/academic/index.html>

分野等：

1. 食品の加工・保蔵に関する研究
2. 食品の安全性に関する研究
3. 食品の機能性に関する研究
4. 食品または水産分野におけるバイオテクノロジーに関する研究
5. 食品の未利用資源（または廃棄物）の有効利用に関する研究
6. その他食品科学に関する研究 等

公募期間：2022年12月20日～2023年3月24日

- ・一般財団法人金森財団：「2023年度研究助成」

<http://www.kanamori-foundation.or.jp/kenkyu.html>

分野等：電気電子工学、光学関連、機械工学、化学関連、医療機器関連、環境・エネルギー関連、材料工学、農学（機能性食品等）

公募期間：2023年1月5日～4月20日

- ・公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：「2023年度試験研究助成」

<https://www.krf.or.jp/category/guide/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野 等

公募期間：2023年1月6日～8月31日

- ・公益財団法人 荏原 昌山記念文化財団：「2023年度研究助成」

<https://www.ebara.co.jp/foundation/information/topics.html>

分野等：環境・エネルギー・バイオマス 等

公募期間：2023年1月18日～3月16日

- ・特定非営利活動法人酵母細胞研究会：「地神芳文記念研究助成金 2023年度募集」

<http://www.yeast.umin.jp/fy2023jigami-fund.html>

分野等：酵母に関する生物科学的研究であれば基礎あるいは応用の別を問わない。また、糖鎖に関する研究は生物種を問わず、基礎あるいは応用の別を問わない。

公募期間：2023年1月19日～4月14日

- ・公益財団法人日本生命財団：「2023年度ニッセイ財団 環境問題研究助成」

<http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kankyo/02.html>

分野等：

1. 学際的総合研究

人間活動と環境保全との調和に関する研究 —持続型社会の構築に向けた地域循環共生圏の形成、気候変動の影響や自然災害に対する適応力の強化—

2. 若手研究・奨励研究

ニッセイ財団の「助成の趣旨」を踏まえた環境問題研究で、若手研究者の基礎的研究・萌芽的研究や新しい分野への挑戦的研究（特に課題は設定していない）

公募期間：2023年1月30日～4月3日

- ・一般財団法人水源地環境センター：「令和5年度WEC応用生態研究助成」

<http://www.wec.or.jp/support/season/index.html>

分野等：ダム貯水池に係わる生態系・水環境（上下流・周辺を含む）に関する研究

公募期間：2023年2月10日～4月5日

【研究開発関連以外】

■省庁等

- ・経済産業省：「令和4年度第2次補正予算「地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備」（大学等向け）」

<https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/2023/k230130003.html>

分野等：(1) スタートアップ創出のためのインキュベーション施設・設備等、(2) 企業との共同実験施設・設備等、(3) オープンイノベーション推進施設・設備等の整備を支援する。

公募期間：2023年1月30日～2月22日

- ・経済産業省：「令和4年度第2次補正予算「地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備」（民間企業等向け）」

<https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/2023/k230130002.html>

分野等：創業初期のディープテック・スタートアップや創業予定の研究者・技術者を主たる利用者として想定したインキュベーション施設における研究開発設備等の導入・運用等（研究開発に必要な機械装置等の購入又は据え付け並びに導入後初期の運用サポート）を支援する。

公募期間：2023年1月30日～2月22日